

# 三水会会報

北里大学水産学部  
同窓会会報  
第 11 号

昭和61年 3月14日発行

編集者 大野 良 樹

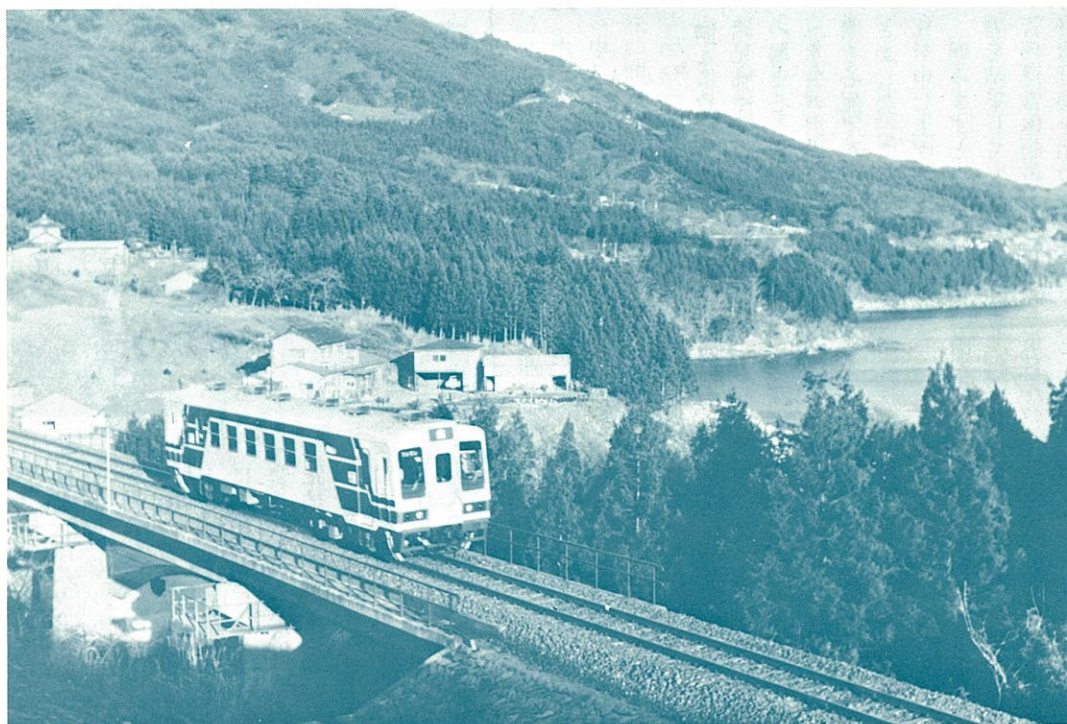
発行 北里大学水産学  
部同窓会

(三水会事務局)

〒151 東京都渋谷区大山町17-

17-503 ☎03(465)6569

振替口座 第一勧業銀行大手町  
支店 008-1182388



## 職務中の初夢

名簿担当理事 関 口 敬 二

(世田谷区立砧中学校教諭)

また今年も新たな年を迎えた。

○ 1月から始まる 1 年

○ 立春から始まる 1 年

○ 4月から始まる 1 年

現在、1月から始まる暦が共通して使われ、  
時を刻むものである。

立春から始まるものは旧暦で、今でもその呼び方は残っている。それは、正月一師走という。日本の四季、情緒、古事、伝承行事など日本の心を考えるには、最も適すと思う。

4月に始まる暦は、学校年度と言われているが、私にはどうもこれが最も事務的な暦のように感じられてしょうがない。職業柄しうがなのだろうか……？

4月、12才位の人間と出合い、3月になると15才位の人間を世に送り出す。これを3年続けると大きな1周期が終わる。この1周期の間には人間の成長の中で精神面が大きな変革を遂げていく。そんな大切な時期に参与している我身を思うと恐しさやら誇りやら重責さを痛感する。そんな事を考えているうちに、世の中では、短絡的行為による犯罪、心ない行為、口だけは優しさと言いつつ、実は人格を持った1人の人間を私物化しようとする人間が増加しつつあるのではないだろうか。自分の子どもをかわい





## 学長を終えて

松浦 文雄

学長職を退いてから、もう半年余りになります。在任四年余の間には随分長いと感じたことも屢々でしたが、今となつてはあつという間のこのようにも思われます。私なりに懸命に努力した心算でしたが、これといった功もなく、多くの課題も未解決のままに過ぎてしまったことを心苦しく思っております。

大過なくとは到底いえませんが、大任を終えることができましたのは、

偏に教職員の方々を始め、同窓会諸兄弟や関係各位のご協力、ご応援の賜と心から感謝いたしております。三水会の沢山の方達からは、私の健康を心配下さる暖かいお励ましを頂きました。この機会に改めて厚くお礼を申し上げます。

顧みますと、就任当初、学園が総力を結集して取組んだ最大の課題は、管理運営体制の見直しでありました。寄附行為を始め諸規程等の改正が行

いと思う気持ちはわかるが、度を越すと、その人間を所有してしまふ事となり、ペットとして子ども(人間)を見てしまふ。そのように扱われた人間は、食物・楽しさ・欲求を満たしてくれる者には、おもしろいように尾を振り、自己PRに努める人間になつてゐるのではないだろうか。正に幼稚化現象である。人間を、本当の意味で人格を持った生物として育てようとする人は、根暗・わからず屋などと敬遠される。すると、大人の中には敬遠されないように教

育を止める親(親権放棄型)。やたら大声、威圧によつて育てる親(親権過信型)。その場その場せつな的に取りつくり育てる親(親権幫間型)。新人類の出現などおだて、自分も流行に乗り遅れないようにし、良き理解者ぶつて育てる親(親権迎合型)……。

ハッ

いつの間に居眠りを。あな恐しやなんという夢だ。

私は、立春に始まる心豊かな生活になると良いな。

今年も吉年となりますよう。

なわれたことは、ご存じのことと思います。これに注がれた教職員のエネルギーは実に莫大なものがあります。多くの人々から成る集団の意志統一が難かしいのは当然ですが、いわゆる大学改革の困難さが伝えられる中で、短期間にこのような改革が成就したのは異例のことでありましょう。兎も角も、このようにして学園の健全な発展のための土台ができたことは、慶賀すべきことと申さねばなりません。

こうして、次第に大学としての落着きを取戻すにつれて、大学の本質的な問題や将来問題が最大の関心事

となつて参りました。大学界は今後益々厳しい環境に立たされます。急速に変化する社会の中で、社会の要求にどう対応し、公共的責任を果たすべく、多様化した学生の価値観や期待にどう応えるか等々難かしいことばかりです。私学はことに経営上の問題を抱えるだけに一層、事態は深刻です。一種の危機感をすら覚えます。

これに対処する道は教育、研究の充実を図る地道な努力以外にない、の一言に尽きますが、その具体策が問題です。精神主義のみでは事は運びません。施設、設備等物的面の整



備充実が必要なことは理の当然であります。各学部、病院等それぞれに新たな施設建設等が計画され、あるいは既に実行段階に入ったものも二、三に止まりません。現状に即して、また長期的展望に立って、大学の活性化を図ろうとする意欲と希望に燃え、目下、学園を挙げて非常な決意のもとに、これらの計画の推進に当たっております。

学園は今や、基礎固めの、いわば守りの姿勢から、攻めの積極姿勢に転じました。様々な困難はありましようとも、是非ともやり抜かねばなりません。緊張の中にも、学園に再び明るさがよみがえってきたことは真にご同慶の至りであります。

昭和六十二年は、あたかも学園創立満二十五周年に当たります。四半世紀の学園の歴史のあとを辿り、その生長を祝うに止めず、建設的な意義を込めた記念事業を起そうとの議が生れたのは、任期も終りに近い頃でした。学園に新たな忙しさが生ずることになりましたが、図らずも常任理事を仰せ付かり、この記念事業の企画委員長を命ぜられました。老骨が多少なりともお役に立つならばと、努力を尽くす所存ですので、皆様にも大いに協力下さるよう切にお願い

いたします。

この記念事業は、募金趣意書にも記されております通り、学祖北里柴三郎先生のご生家の整備を始めとする様々の全学的事業計画のほか、各学部、病院等の施設、設備等の建設、充実を主要な柱としております。固より多額の投資を必要とする大事業ではありますが、学園の将来の発展のための布石として、最少限、必要かつ不可欠のものであると考えます。学園の一層の隆昌のために学内外、殊に同窓諸氏の絶大なご応援をお願い申し上げる次第であります。

水産学部が、教職員の方々や学生諸君の一致協力によって強固な地歩を築きつつあることは心強い限りです。このたび新講座の増設が認められましたのもその一証左と申せましょう。教育の一層の充実が期待されます。研究の盛んな学部としての名声も既に定評があります。三大先端技術領域の一つ、生命科学の一翼を担う水産学が、時代の脚光を浴びる日も遠くないと確信します。また、そのためにこそ、広い視野に立つ総合的かつ創造性豊かな研究が望まれますし、そうした雰囲気と、天与の優れた自然環境の中での教育は、また必ずや次代を背負う真の後継者

を陸続と輩出するでありましょう。

三水会員諸君の心の故郷、水産学部の発展のため、挙ってご応援下さ

## 外食産業の最前線にて

(株)すかいらく営業部

### 4F 梶田 明人

現在、外食産業は競合が激しく、あと4〜5年もたてば倒産または吸収合併される会社も出てくると思われる厳しい時代に入ってきています。その中で「すかいらく」「ロイヤルホスト」「デニーズ」が、外食産業の御三家といわれ、毎年安定成長を続けています。外食産業は昔風に言えば水商売ですが、「すかいらく」「ロイヤルホスト」は東証一部上場会社であり、また「デニーズ」は東証二部上場会社と、一般的に見ても一流企業の仲間入りをしています。

私の勤めている株式会社「すかいらく」は、「価値ある豊かさの創造」という経営理念の基にチェーンストアを展開し、店舗ではこの経営理念を具体的に「ひとりでも多くのお客様に、安くておいしい料理を気持ちの良いサービスで、清潔な店舗で

るよう重ねてお願いして已みません。終りに、皆様の益々のご健勝とご活躍を心から祈念申しあげます。

その他コーヒESHOPの「ジョナサン」、和食レストラン「藍屋」、地中海料理「タジオ」、高級懷石料理「白紙庵」、またファーストフードでは、ローストビーフサンドイッチの「ビリージーン」、フライドチキンの「カントリーファーム」があ





ります。

その他にも、おしほりのリース会社「ラックシヤネル」、すかいらくのメンテナンス全般の修理会社「オイルサービス」、保険業務代行会社「ひばり開発」、惣菜等の宅配会社「フレッシュすかいらく」、工場から各店舗への運送会社「ブレンフォーラム」と様々な業種を展開しております。この中には、まだ実験段階のものもあれば、すでに全国に展開している業種もあります。

また、これ以外に現在開発中の中華レストランや、前橋市には1400坪の敷地に「すかいらく」「イエ

スタデイ」「藍屋」と相乗効果を狙って三店舗同敷地内にオープンし、また川越市では1570坪の敷地に「イエスタデイ」「藍屋」「カントリーファーム」とこれも同敷地内にオープンするなど、自分自身がこの会社に勤めているにもかかわらず、まだまだ何をやりだすか判らない会社です。その様な点で面白味のある会社であり、またチャンスが沢山ある会社でもあります。

現在、私は営業部に所属し、店長として仕事をしています。店長の仕事は「良い店」を作ることです。「良い店」とは、第一にはお客様がよい店だなと感じる店、たとえば笑顔のあるサービスや感じのよい接客、速い料理提供など、お客様が満足してお帰りになれるよう努力しています。つぎに、従業員が楽しく生き生きと働ける店。最後に利益の確保できる店と、行なうことが沢山あり、達成感が1、2ヶ月で出てくるものもあり、やりがいのある仕事です。

従業員はアルバイトが主体で、1店舗に40、60名のアルバイトが働いています。高校生、大学生、社会人、主婦と幅広い年齢層の人達が働いている為、人間関係などで大変な面もありますが、若い人達と一諸に仕

事をしていると気持ちも若く持て、日々楽しく仕事をしています。

私生活では、勤務シフトが遅番の場合、生活が普通のサラリーマンとまるで反対になってしまいます。たとえば、営業時間が10時オープン05時閉店の店舗では、20時出勤の05時までの労働になり、夕食を朝の7時頃にとったり、日によっては夜中の2時3時に食事をとるなど、妻の理

## 医学部研究室に勤務して

帝京大学医学部第一外科教室

8 A 徳田 有紀子

大学の研究室に入職して3年間が過ぎようとしています。入ったばかりの頃は、外科の研究室は未知の分野で、不安だらけでしたが、やっと自分の場所を確保できたようなこの頃です。

研究室のスタッフは、獣医学専門の先生を責任者とし、アシスタントの女性が3名、私を含め2名が北里出身者です。そして医学部大学院生が現在12名で、毎日実験研究をしています。

私が入職した頃には5名いたアシ

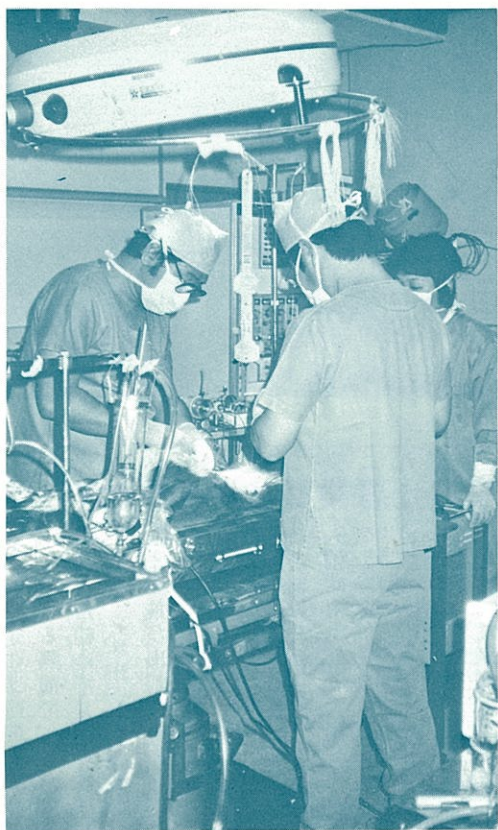
解がなければ出来ない仕事です。恐縮ですが、この場をおかりして妻に深く感謝したいと思います。

人が遊んでいる時、寝ている時に仕事をし、人が仕事をしている時に休をとったり遊んだり、なかなかサッカークラブのOB会などにも参加出来ずにおりますが、日々楽しく働いていますので、今後も「すかいらく」共々よろしく願っています。

スタントが3名に減ってしまいました。新人が入るといいことないで、その分それぞれの役割が増え、自分の専門の仕事以外も一応、一通り何でもできるように広く浅く何とかこなしています。

現在私は、エンドトキシンという毒素の定量を専門に行っています。外科の研究室ということもあって、手術やいろいろな検査による血中エンドトキシンの量の変化をみるもので、実験室の測定で求めたデータをパソコンや、昨年から入った大型コン





ピューターシステムを使い、最終的な出力をさせます。これは私が入職した時から始ったプロジェクトで、今までいろいろな学会で発表されてきました。3年たった今では、実験開始当初の3倍の検体数を消化できるようにになりました。

また、やはり外科の研究室なので実験も手術が中心です。そこで、犬やラット、マウスなどの開腹実験の介助をあとの2人が主に行っています。動物実験は、何回となく同じ実験を繰り返し、データを収集します。そして、ここで入手したデータをコンピュータにかけて解析します。このコンピュータ処理もア

シスタントとして重要な仕事の一つです。私たちは、入職が決まり実際の仕事が始まるまでに、タイプ打ちは必須の勉強項目でした。そして、パソコンやコンピュータの講習も今までに何回か受けてきました。また、学会の抄録や論文もすべてワープロで処理しているの、やはりタイプ打ちは欠かせません。

このように、実験・データ処理、論文というのが主な内容ですが、それにともなう仕事として、使用器具の滅菌、試薬の調整、機械・器具の準備、そして電顕や病理組織の標本作製から切片切り、また実験によっ

ては、経過を見るものもあるのでその動物の世話と、いろいろのつながりから仕事成り立っています。

そして、忘れてならない大切な仕事に、昼食の注文というのがあります。何を隠そう、昼食が済むと仕事が始どったような安心感で充たされるのです。またお茶汲み、電話番も忘れてはならない大切な仕事です。私はいつも、研究室に勤めて何をしているのかと聞かれると、「お茶汲みから実験まで」と答えています。

帝京大学医学部第一外科学教室

○三一九六四—一二一—

内線二一六〇

## 日本ハム・ファイターズ前監督の 大沢氏、三陸で講演会

3A 長谷川 一敏

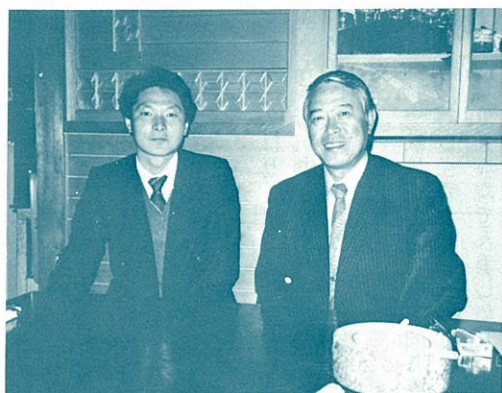
昭和60年10月19、20日の両日、三

陸キャンパスにおいて、第13回漁火祭が行なわれ、今回は北里大学同窓会主催の講演会もあわせて開催されました。講演者には日本ハム・ファイターズの前監督、大沢啓二氏を三陸校舎体育館にお迎えして、「私の野球人生」と題し、大いに語っていた

だきました。

現在、大沢さんは日本ハム球団の取締役であり、また強化育成部長でもあります。これまで歩まれた立教大学野球部から南海ホークス現役選手時代、そして監督をなされていた去年までの半生を、ユーモアを交え、男の生き方を本音で語っていただき





ました。講演予定の2時間を30分以上もオーバーする熱演で、また最後には大沢さんが初めてレコーディングなされた「ガンコおやじの目に涙」という歌まで飛び出し、この日集まれた三陸町の方々と、在学生諸君の盛況ぶりは言うまでもありませんでした。この日、幸いにも同行させていただきました私も、大沢さんの豪快で人情味あふれる人柄に接することができ、さすがに「親分と慕われる大沢さん」と、深く感銘したしだいであります。

最後になりましたが、太田静行先生を初めとして、お世話いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

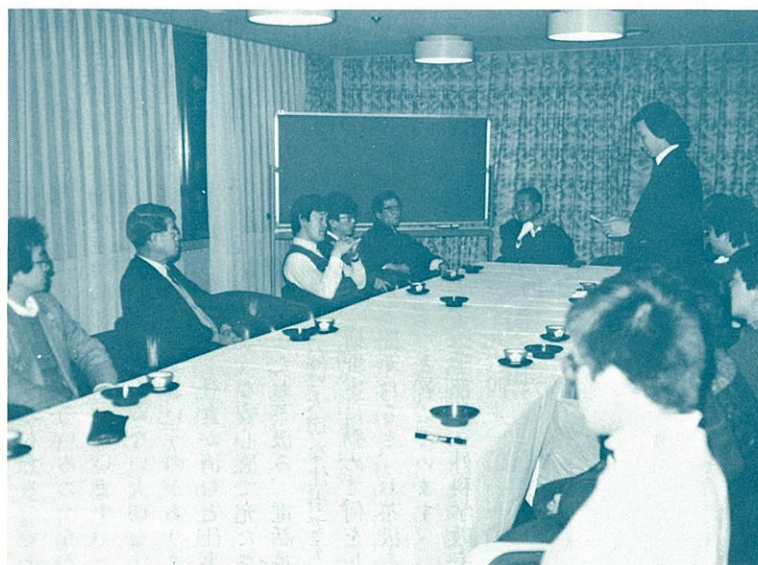
## 東北地区懇親会、花巻温泉にて開催される。

2月15日、花巻温泉「ホテル紅葉館」に於いて、青森・秋田・岩手・宮城・福島各県にお住いの会員を対象に、三水会東北地区懇親会が開催されました。

当日は雪の降りしきる中を、藤野学部長、小林教授、野村教授、山盛助教授、厚田講師の諸先生をはじめ、会員及び会員のご家族を合わせて、約30名が集いました。

温泉で汗を流した後、宴会場にて午後6時より9時まで、各先生、会員の近況報告、福引きなどで楽しくすごし、さらに部屋を変えて夜中の一時すぎまで、仕事のこと家族のことなど、話はつきませんでした。

翌16日は、二日酔い



の酒気を温泉で追い払い、記念撮影の後、再会を約し、雪に照り映える陽光の中を各自の持ち場へと散開いたしました。





## 25周年記念事業募金に対するご協力のお願いについて

三水会会長 長 屋 信 博

既に募金のお願いの文書によりご承知のことと思いますが、私達の母校である北里大学は来年、創立25周年を迎えます。

大学としては、これを機にさらにライフサイエンスを中心とする大学の将来への発展を目ざすため、教育研究施設の充実や、多くの記念事業を企画しておりますが、この事業推進には多大の財源が必要となるため、学園は一体となって25周年記念の募金活動を行う事となりました。

水産学部としては、教育研究施設の拡充をこの事業の柱としておりますが、特に、この事業に寄せられた募金等を活用した外国人研究者の招聘等を通じ、学術国際交流をさらに進めていくことが重点事項とされております。

本会としても母校の発展のため、この募金活動に他学部同窓会とともにできる限りの協力をするつもりでしたので、会員の皆様もこの趣旨にご理解を賜わり、ご協力いただきますようお願いいたします。

会員の皆様のご支援を心から期待いたします。

## 三陸校舎での就職ガイダンス にご参加ください

三水会では、毎年5月頃、三陸校舎にて在学学生を対象とした就職ガイダンスを行っております。来年度に水産学部卒業生を採用したいとお考えの方は、是非とも就職ガイダンスにご参加下さい。

参加ご希望の方は、三水会事務局へご連絡下さい。詳しい日程等をお知らせいたします。

☎03(465)6569

## 三水会代議員及び理事の改選 と代議員の推薦について

3年間の任期満了にともない、三水会の代議員、及び理事の改選を、昭和61年度三水会総会に於いて行ないます。

つきましては代議員の推薦(自薦、他薦)を下記の要項にて募りますので、本誌同封の葉書に必要事項を記入のうえ、ご回報ください。

代議員資格 三水会会員

応募期間 昭和61年4月12日(土)まで

不明な点につきましては、三水会事務局へお問い合わせ下さい。

☎03(465)6569



# 「先生を囲む会」及び三水会総会

## 開催のご案内

昭和61年度三水会総会の開催にあわせて、恒例の「先生を囲む会」を左記の通り開催いたします。

今回は昭和56年より水産衛生学講座教授として、主に水棲生物に含まれる化学物質の研究を展開中の神谷先生をお迎えして、水産学部近況、最近の研究などについて講演いただきます。

あわせて懇親会を行いますのでご家族、ご友人おさそい合わせのうえ、是非ともご参加下さい。

期日 昭和61年5月25日(日)

11時～12時 総会

13時～14時 先生を囲む会

14時～17時 懇親会

場所 北里本館(白金校舎内)

二階大会議室

尚、三水会に対するご意見、ご要望の向きは、事前に下記の代議員までご連絡下さい。

## 三水会代議員名簿

増殖(三〇名)

|           |            |
|-----------|------------|
| 大野 良樹(一期) | 其阿弥喜嗣(二期)  |
| 坂本 晋(一期)  | 長屋 信博(一期)  |
| 伴 圭司(一期)  | 森下 寛(一期)   |
| 田代 茂年(二期) | 田中 和良(二期)  |
| 田村 治(二期)  | 横堀 昌道(二期)  |
| 鈴木 英之(三期) | 関口 敬二(三期)  |
| 田中 信介(三期) | 長谷川 一敏(三期) |
| 石井 美華(四期) | 石黒 信良(四期)  |
| 大沢 義憲(四期) | 玉井 正史(四期)  |
| 高木 雅宏(四期) | 奥村 誠一(五期)  |
| 島田久美子(五期) | 神取 政司(五期)  |
| 長島 宏一(五期) | 中村 守孝(五期)  |
| 村上千鶴子(五期) | 江口 りお(六期)  |
| 佐藤伊豆男(六期) | 田中 泰生(六期)  |
| 桃井 隆(六期)  | 林崎 孝志(七期)  |
| 食品(一八名)   |            |
| 岡 常正(一期)  | 石川 義行(一期)  |
| 佐々木英生(一期) | 宮川 忠彦(一期)  |
| 足立 邦彦(二期) | 城 真市(二期)   |
| 長阪 其記(二期) | 中村 年彦(二期)  |
| 安達 泰史(三期) | 佐藤 敏行(三期)  |



|           |           |
|-----------|-----------|
| 伊藤 知尋(四期) | 瀧澤 淳(四期)  |
| 能勢 尚一(四期) | 谷山 二郎(四期) |
| 小川 治男(五期) | 小田 徹(五期)  |
| 高橋 明義(五期) | 武部 道和(五期) |
| 名雲 英人(五期) | 磯部 義文(六期) |
| 太田 浩司(六期) | 長尾 禎彦(六期) |
| 坂本 雅哉(六期) | 小林 昇(七期)  |
| 児玉 雄司(七期) | 寛(七期)     |
| 清 康一(七期)  | 山田 樹(八期)  |

## 事務局だより

◆完全不明者(お知らせ下さい!)

5F 小黒順史

5F 鯨島義宗

右の2名の方の消息がわかりません。ご存知の方は、ご一報下さい。

◆変更届(お済みですか?)

住所、勤務先等に変更のあった方は、事務局までご通知下さい。

全学部同窓会への届出も、事務局で行なっております。

## 届出要項

①卒業期、学科②姓名(旧姓も)

③現住所(〒・電話番号を添えて)

④勤務先名称と電話番号

◆求人案内(貴社へ卒業生を!)

三水会では、今年4月から5月に、在学生(三、四年生)を対象とした就職ガイダンスを開催します。

卒業生の会社関係で、来年度に水産学部卒業の新入社員を募集のところがありませんらご連絡下さい。

就職ガイダンスの中に会社説明会を組み込む予定です。

お気軽にご相談下さい。

お気軽に

事務局(こちらです)

〒151渋谷区大山町17-17 503

北里大学三水会(河野)

03(465)6569

03(465)6569

03(465)6569

03(465)6569